



小郡市立大原中学校だより

# 大為小積



令和3年 皐月 14日

第4号

校長 矢野 晴一

学校教育目標:「自ら考え、自ら判断し、自ら行動しようとする子どもの育成」※「考動」

## 「あたりまえの日常を大事に！」 ある日の昼休みの風景

令和3年度がスタートして一ヶ月が経過しました。制限されることは多いものの、子どもたちは、仲間とともに過ごす日常の学校生活をいとおしむように、大事に大事に過ごしているように思います。

そんな大原中学校の日常をお伝えしたいと思います。今回は、昼休みの場面を紹介いたします。



いとおしむ 何気ない日々 守るため  
考え歩む 仲間とともに  
晴一

昼休みといっても、子どもたちの過ごし方はさまざまです。この時間を使って委員会の掲示物を作成している子どもたちがいます。教室に目をやると、仲間とともに勉強している人がいます。係の仕事に責任をもって取り組んでいる人がいます。グラウンドに目を転ざると、トンボやブラシをかけてグラウンド整備をやってくれている人もいます。音楽室では、合唱活動を充実させるためにパートリーダーたちが集まって研修が行われています。みんなそれぞれ「**自分でできることは何か**」を考えて行動につないでいます。

その様子は、まるで**自分たちのあたりまえの日常を守ろうとしている**ように感じます。そんな大原中の子どもたちの姿にいつも尊敬の念を抱きます。

## 「自他の命を守るために！」 ～ 交通安全教室 開催 ～

4月27日(火)、1年生を対象に交通指導教室を行いました。

さまざまな行事や会議が中止となる状況下で迷いもありましたが、自転車通学をはじめて間もない1年生にとって、登下校時は特に心配な面があることから、実施を決断しました。

当日は、校区内にある交通安全に関する環境が整っている小郡自動車学校に行って、警察署の交通課の方、自動車学校の教官の方から正しい自転車の乗り方について具体的に教えていただきました。安全教室の最後には、自動車の制動距離について、実際に危険な場面を見せていただきました。

自転車は、**軽車両**とみなされます。被害に遭うだけでなく加害者となる場合もあることを忘れてはなりません。**自転車保険への加入**も義務づけられています。

ご家庭や地域においても、子どもたちが「**自分で自分の身を守る**」ことができるように、自転車の乗り方や交通マナーについて話していただきますようお願いいたします。



## 「想像する力を！」 携帯マナー教室 初のリモート開催

5月6日(木)、情報モラル教育として「携帯マナー教室」を行いました。この教室も、開催の可否を検討しましたが、社会問題化しているSNSの問題については、「やっておくべきだ」と考え、初のリモートによる実施といたしました。

依存症の怖さや友だちとのやりとりの際の注意点、写真や動画のとりあつかい等について具体的な例をもとに学びました。子どもたちは、画面越しの講師とやりとりをしながら真剣に参加することができました。

大切なのは、相手の立場にたって考えたり、先のことを考えたりする「想像する力」を高めることだと感じました。また、はっきりしない情報については、鵜呑みにして心が乱れる前に、真偽を確かめることが大事だと思います。**子どもたちの元気な生活や輝く笑顔をまもるために**、子どもたち自身も私たち大人もふんばらなければならぬと感じております。



## 「自学自習の力を！」 チューター大原中がスタートします。

小郡市では、すべての小中学校で「教育条件整備のための署名活動」に取り組まれています。毎年たくさん(約3万)の署名が集まっています。(昨年度は、感染拡大防止の観点から団体署名を実施)

その成果を受けて、小郡市教育委員会では平成25年度から「学び場支援事業」を市内のすべての小中学校で実施しています。大原中学校区では、「大原小BBクラブ」「東野小BBクラブ」「**チューター大原中**」が開設されて14年目を迎えています。



### 【この事業の目的と計画】

- ☆ 将来の進路保障につながる「生きる力」としての「基礎学力」と「自学自習の力」を身につけること
- ☆ ともに学び合い、ともに支え合う仲間づくり

- ・(全学年対象) 定期考査前・考査期間中 放課後1~2時間程度 全16回
- ・(3年生対象) 10月末から 週1回(火曜日) 放課後1~2時間程度 全12回
- ・(土曜チューター) 5月から開設 13:00~17:00 ひまわり館、きぼうの森館、人権教育啓発センター

本年度も、募集が行われ、5月17日(月)の放課後から「**チューター大原中**」がスタートします。予断を許さない状況は続いています。感染予防対策を講じながら、できることを見出して取り組んでいきたいと思っております。たくさん子どもたちが「学び場」に集うことを願っています。

### 【連絡・問い合わせ先】

小郡市教育委員会 人権・同和教育課 学び場支援事務局(二夕集会所内) 電話 73-4393  
大原中学校 担当:大石 電話72-2027

## 小さいけれど大きな感動 その4 2年生リーダーたちの「考動」

4月28日(水)、部活動の朝練習が中止される中、早朝の生徒会室の明かりが目にとまり、訪ねてみると、2年生のリーダーたちが5月14日(金)に予定している「ブロック色決め」の準備を行っていました。

私が、「ブロック色決めはもっとあとの活動じゃなかったっけ?」と尋ねると、子どもたちは、おそらく昨年のことを考えたのでしょう、「この先、どうなるかわからないから、できることをできる**ときにしておこうと思って**」とこたえてくれました。

その瞬間、「**なんとすばらしい子どもたちだ!**」と、大きな感動を覚えました。その姿は、まさに「**自ら考え判断し行動しようとする**」(「考動」)という学校教育目標を実践している姿だと思いました。

2年生の子どもたちが自発的に奮闘する姿をみて、ますますやる気がわきあがってきました。

